

平成30年2月13日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

選択的ナトリウムチャンネル遮断薬(ピラゾロピリジン誘導体)の 米国における特許査定のお知らせ

当社が創出した選択的ナトリウムチャンネル遮断薬の物質特許のうちの一つピラゾロピリジン誘導体(出願番号14/434,203)は、これまで米国で審査中でありましたが、本日、特許査定^{*}の連絡を受けましたのでお知らせいたします。

今回特許査定を受けたピラゾロピリジン誘導体は、当社が平成29年9月6日に開示いたしました「選択的ナトリウムチャンネル遮断薬(ピラゾロピリジン誘導体)の日本における特許査定のお知らせ」と同じシリーズの誘導体です。今回の特許査定により、日本、欧州、中国に引き続き、米国において当社の知的財産権が強化される事となりました。

当社が創出したナトリウムチャンネル遮断薬は、テトロドトキシン感受性(TTX-S)ナトリウムチャンネルに対して特異的に作用し、複数の疼痛モデル動物において、高い有効性を示すことが確認されています。本化合物は、心臓で重要な働きをするテトロドトキシン抵抗性(TTX-R)ナトリウムチャンネルに対して良好な選択性を示すことから、副作用の少ない画期的新薬として、様々な疼痛状態に対する未充足の医療ニーズに応えることが期待されます。

選択的イオンチャンネル遮断薬の創製は、当社の主力プロジェクトのひとつです。今回の選択的ナトリウムチャンネル遮断薬は、当社の強みであるイオンチャンネル活性評価と疼痛領域に関する経験を活かした成果であり、今後も多くの治療用途を有するイオンチャンネル創薬を進め、知的財産のポートフォリオの強化・充実に努めてまいります。

なお、本特許査定により、平成30年12月期(平成30年1月1日～平成30年12月31日)の当社業績への影響はございません。当社は選択的ナトリウムチャンネル遮断薬に関する複数の特許を既に保有していますが、今回の特許査定により、研究開発の進展や新たな導出契約等を通じて、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えています。

以 上

<ご参考>

【ナトリウムチャンネルについて】

ナトリウムチャンネルは、筋肉細胞や神経細胞などの興奮性細胞の細胞膜表面に多く発現するイオンチャンネルの一種であり、細胞内外の電位変化に応じて開口しナトリウムイオンを選択的に細胞内へ透過させます。ナトリウムチャンネルが開口することで活動電位が発生し、知覚神経では痛みの伝達を担っています。現在までに9種類（Nav1.1～Nav1.9）のナトリウムチャンネルが報告されており、ふぐ毒で知られるテトロドトキシン（TTX）に対する感受性によりTTX-SとTTX-Rに分類されています。TTX-Sに分類されるチャンネルの遮断薬は痛みの治療薬として期待されています。

【特許査定について】

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。